

山口大学医学部附属病院で過去に「好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA）」

の末梢神経障害に対する急性期治療の有効性の検証研究」で参加した皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA） neuropathyに対する急性期メボリズマブ投与の治療成績を調査する前向き観察研究		
② 実施予定期間	実施許可日 から 2026年3月31日		
③ 対象患者	④の対象期間中に過去に「好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA）の末梢神経障害に対する急性期治療の有効性の検証研究」で参加した患者さんになります。		
④ 対象期間	2004年3月31日 から 2020年3月31日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	脳神経内科		
⑦ 研究責任者	氏名	竹下幸男	所属 神経筋難病治療学講座
⑧ 使用する情報等	電子カルテから診療データ（年齢、性別、臨床症状、血液検査所見（好酸球数、MPO-ANCA、PR3-ANCA）、末梢神経伝導検査所見、末梢神経病理所見、筋病理所見、行われた治療内容）を収集します。		
⑨ 研究の概要	本研究では、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症患者さんの末梢神経障害に対する急性期治療のメボリズマブの有効性を明らかにすることを目的としています。具体的には、2004年から2020年に当院でステロイド治療を行った患者さん（過去研究「好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA）の末梢神経障害に対する急性期治療の有効性の検証研究」に参加した患者さん）と②の実施期間で、今回新たに調査する研究のステロイド治療後にメボリズマブで治療した患者さんの治療効果を比較し、発症早期にメボリズマブで治療することの有効性を明らかとします。		
⑩ 実施許可	研究の実施許可日	2024年 4月 9日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	山口大学とグラクソスミスクラインに帰属します。		

⑮ 研究の資金源	グラクソスミスクラインから研究費の提供を受けています		
⑯ 利益相反	ありません。		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 脳神経内科・神経筋難病治療学講座 担当者：竹下幸男		
	電話	0836-22-2719	FAX